

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1490200175
法人名	有限会社つばさケアサービス
事業所名	小規模多機能ホームつばさ
訪問調査日	平成25年11月11日
評価確定日	平成26年1月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 事業の開始年月日, 指定年月日, 法人名, 事業所名, 所在地, サービス種別, 定員等, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日.

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先, [Blank]

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「自宅に居るような」「友達の家に住むような」そんな気分で心地よく過ごして頂けるように心掛けています。利用者様ご本人には「危ないからしないでください」ではなく、「一緒にしましょう」と一人ひとりにここでの「役割り」も持ってもらいます。地域の方達ともっと連携をとって地域の一人に早くなれるよう、頑張っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 4 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日, 評価機関評価決定日.

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームは、有限会社つばさケアサービスの経営である。この法人は、平成16年に都筑区荏田南に訪問介護を最初に開設し、次々に、神奈川県羽沢南に通所介護、荏田南に通所介護、その後、このホームを開設した。荏田南の事業所では障害福祉サービス事業所も併設している。このホームは、横浜駅からバスで20分、上星川駅からバスで10分程度のところの住宅街の中に位置している。②理念は、すべての利用者様の「自分らしさ」を大切に、「自然と笑顔になれる心地よい居場所」になるのである。そして、基本方針を「地域貢献」「思いやり」「本人本位の介護」「介護を求める方の力になる」のキーワードの基に4項目にまとめている。この理念と基本方針は玄関に掲げ、理念を基にスタッフ同士コミュニケーションをとり、基本方針に沿ったサービスの提供を行っている。③地域とは良い関係が構築されつつある。自治会に加入し、消防署長さんの声掛けで自治会と災害時の協力協定を結び、災害時には初期消火、避難誘導等可能な限り応援活動を行うと約束している。そして、年2回の防災訓練を自治会と合同で行っていて、地域の人には、利用者さんを階下から公園までの誘導をお願いしている。この地域は若い人が多いので、自治会に老人会は無く、交流活動はこれからである。今年、自治会の夏祭りに参加し、事業所の今月の行事ハローウィンに参加頂くように声をかけている。近隣の保育園とは、花祭りに見学に行き、甘茶をかけ交流している。④職員の採用については、法人として特に資格の有無に拘らず、心のある人の採用を優先しており、無資格者も採用している。入職後に初任者基礎研修からケアマネなど資格取得をバックアップしている。研修については外部の研修・講座への参加の推進、横浜市の小規模多機能事業者連絡会への出席と研修会への参加の他、各事業所での研修及びOJT研修を常々実施し、職員のレベルアップを図っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

Table with 3 columns: 評価項目の領域, 自己評価項目, 外部評価項目.

事業所名	小規模多機能ホームつばさ
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を施設内に掲示し、理念に基づいて業務に取り組めるようにしています。	理念は、すべての利用者様の「自分らしさ」を大切に、「自然と笑顔になれる心地よい居場所」になる。そして、基本方針を「地域貢献」「思いやり」「本人本位の介護」「介護を求める方の力になる」のキーワードの基に4項目にまとめている。この理念と基本方針は玄関に掲げ、理念を基にスタッフ同士コミュニケーションをとり、基本方針に沿ったサービスの提供を行っている。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年2回の防災訓練を自治会と合同で行っています。また、自治会と災害時の協力協定を結び災害時には初期消火、避難誘導等可能な限り応援活動を行うと約束しました。	地域とは良い関係が構築されつつある。自治会に加入し、消防署長さんの声掛けで自治会と災害時の協力協定を結び、災害時には初期消火、避難誘導等可能な限り応援活動を行うと約束している。そして、年2回の防災訓練を自治会と合同で行っていて、地域の人には、利用者さんを階下から公園までの誘導をお願いしている。この地域は若い人が多いので、自治会に老人会は無く、交流活動はこれからである。今年、自治会の夏祭りに参加し、事業所の今月の行事ハローウィンに参加頂くように声をかけている。近隣の保育園とは認知症デイの時代から交流を持ち、花祭りを見学に行き、甘茶をかけ交流している。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている				
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議を2か月に1度開催し実績報告し、意見を頂いきサービスの改善に努めています。	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、利用状況やサービスの実践状況等を報告して意見を頂いている。メンバーは連合自治会長、地域代表、地域包括支援センターの方、ご家族、それに施設関係者である。地域活動の情報や行政・地域包括支援センター情報を頂き、運営の参考にしている。今後、この地区の稲荷自治会長さん、民生委員さんに参加案内をする。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	小規模多機能事業者連絡会に参加し市の情報を得ています。また、包括支援センターに伺い相談にのって頂いています。	市主催の横浜市小規模多機能事業者連絡会の勉強会に参加し、横浜市の情報等を得ている。地域の包括支援センターには、定期的にお伺いし、困難事例などあれば相談にのって頂ける様関係づくりをしたり、センターのイベント（今年はモーニングカフェーなど）にも順次参加している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。職員は身体拘束の勉強会を行い身体拘束への理解を得ています。施錠はせず外出したい方には一緒に外出するなどの対応をしています。	身体拘束をしないケアについては、職員の研修を実施し正しい理解に努めている。身体拘束は行ってない。玄関、窓等の施錠はせず、スタッフが利用者につき添い行動を共にすることで、危険を回避している。外に出たい方には、デッキで日向ぼっこや散歩やドライブや買い物等にお誘いし、気持ちに添えるよう心がけている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待防止の勉強会を行い、入浴時には身体の変化を見逃さないようにしています。また、ご家族の介護疲れがないか日頃より交流を密に行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の勉強会を行い、知識の習得に努めています。成年後見人制度を必要としている方には説明を行い、制度を利用出来るように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規依頼があった時にはすぐに施設説明と状況把握を伺うようにしています。不明点等は理解していただけるまで丁寧に対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常にご家族との交流を図り、意見や要望を受け取り日々のケアに反映させています。	ご家族等のご意見は訪問時や送迎時、連絡帳、お手紙、電話等で伺い、ご家族とのコミュニケーションを大切にし、日々のケアに反映させている。月1回つばさ便りを出し、施設での状況をお知らせしている。ご家族の要望は、施設を利用する時はお風呂に入れて欲しいこと、毎日デイに通いたいなどの要望がある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティングを行い職員の意見を聞き今後の業務改善を行っています。職員からの意見や相談を常に聞き、働きやすい環境を整備しています。	職員の意見は原則的には月に1度のミーティングで聞き、又、雇用契約更新（10月）に併せて面接を行い、意見や今後の方向性を確認するようにしている。面接は定期的の他、必要に応じて随時行うようにしている。日常的にスタッフ同士のコミュニケーションを図り、働きやすい環境を作る努力をしている。キャリアパスについては、資格取得をバックアップし、研修費用も出し、資格を取得したら資格手当等優遇も実施している。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価を実施し、見えない部分の職員の満足度を知る。資格手当の支給、外部研修の参加費用や賃金の支給を行っています。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の職員に合った外部研修への参加。新人職員には担当職員が付き不安なく働けるようにしています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修や勉強会に参加し他事業者との意見や情報交換を行っています。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを開始する前にご本人と話をし要望や不安などを伺い安心してサービスの利用を開始して頂けるようにしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回のアセスメントは管理者が行い、ご家族から話を伺い要望に対してサービスの提案や不安に対してご相談に乗り信頼関係を築けるように努めます。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としているサービスを見極めた上でその他のサービスを交え、出来るサービスが出来るよう対応に努めています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来る事を行って貰うことでその人らしさを引き出せるように支援しています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご自宅での様子や施設の様子を伝え合い、相談に対しては検討し支援出来るように努め、ご家族が出来る支援はご家族にお願いし共に良い関係を築いていけるように支援しています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の方との交流がある方は地域の行事に参加して頂いたり、馴染みの関係が途切れないように挨拶や回覧板を回したりなどの支援をしています。	小規模多機能はご家族、地域の方、住み慣れた家はそのままで利用出来るので、高齢者には嬉しいサービスであり、関係の継続が可能である。地域の方との交流がある方は地域の行事に参加して頂いたり、馴染みの関係が途切れないように挨拶や回覧板を回したりなどの支援をしている。但し、認知症の進んだ方、独居の方などが多く、近所付き合いが疎遠になっている。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係を築けている方々は、関係が続くように支援し、うまく関係を築けない方は孤立しないようスタッフが間に入り関われるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人の希望で契約を継続できない状況の際、地域包括支援センターに状況説明し支援を依頼し、ご家族についてもご相談して頂けるように対応しました。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の支援の中で、ご本人の意向や希望の把握に努めています。また、ご家族からの話を伺い本人らしい生活支援を検討しています。	利用者の思いや意向の把握は日常的に関わる中で、会話や表情をよく観察し、どんな思いを抱いているかを汲み取る努力をしている。個人記録には、センター方式D4を参考にして、本人からふと漏れる言葉・家族の発言・支援者が気付いたこと・ケアのヒントを記録して、支援の拠りどころにしている。対応困難な場合は、ご家族の方と相談しながら、不穏状態にならないよう関わるようにしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをしっかり行い、ご本人の生活歴や趣味の把握をしています。日々の様子を記録に残しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、支援している中で心身の状況の変化を職員が把握するように申し送りを行い、状態にあった過ごし方が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向や状態を把握し合い、状況にあった支援を迅速に提案しサービス提供に努めています。	在宅のケアプランが目標達成型であるのに対し、小規模多機能のケアプランはその人らしく心地良く生活する希望叶え型であるので要望があればすぐケアに取り入れられる。個人記録を基に1回/月のカンファレンスや状況の変化の際に全員で意見を交換し、見直し、現状に即した計画を作成してサービスを提供している。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録書を記入し、スタッフが共有し合い支援方法の見直しや提供をしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通い、訪問、泊まりを状況に合った形で柔軟にサービスしています。通院や配食、時間外の送迎も対応しています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	希望に応じて、訪問歯科などを安全に出来るようご家族と協力して支援を行っています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の依頼にて受診の際に同行したり、通院の支援も行っています。	基本的には自宅での主治医の活用が原則で、その主治医の情報は連絡帳を通じて又は口頭でお聞きしている。基本的には通院はご家族対応であり、通所での対応は風邪ひき対応程度である。但し、本人・ご家族の希望により、通院の支援を行ない利用者の状況を医師に説明することもある。看護師は、非常勤で2回/週巡回して頂いている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調観察を行い、変なが見らてた時には看護師に報告しアドバイスを受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、連絡を取り合い情報交換に努めました。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急変時の対応は、ご家族と話し合いを行います。現在重度化、終末期の方はいらしゃらないですが、今後の対応として出来る事、できない事をしっかり見極め利用者ご家族にとって良い方法にて支援していきたいです。	これまでに重度化や終末期段階の利用者はいないが、ご家族とは重度化や終末期について話し合う場を設けて行きたいと考えている。かかりつけ医が利用者毎に、異なることや家族対応が基本である中で重度化や終末期のあり方は現状、個別に対応して行くことになると考えている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防の方の指導の下、定期的に心肺蘇生法の訓練を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っています。また、自治会と災害時の協力協定を結び協力をお願いしています。	避難訓練は定期的に年2回ペースで実施している。内1回は消防署の協力のもと、夜間を想定した避難訓練を行っている。自治会と災害時の協力協定を結び協力をお願いしているため、年2回の防災訓練は自治会と合同で行っていて、地域の人には、利用者さんを階下から公園までの誘導をお願いしている。その他、事業所内で、1回/月地震を想定した避難などの訓練をしている。備蓄については、水、米などを3日分保管している。また、非常用に雨樋からビヤダルに雨水を引いて溜めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃より、尊敬の意を持ち言葉づかいにも注意し、プライバシーを損ねないよう対応しています。	契約書に記載している通り、利用者の人格の尊重とプライバシーの確保には充分配慮している。日常的に接する際、尊敬の意を持ち、一人ひとりに合った言葉遣いや言葉選びに細心の注意を払うように努めている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションに気を配り、ご本人の思いを聞き取り、ご本人が自己決定できるように支援しています。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースに合わせ、日々の支援を柔軟に対応し、安心して過ごしていただけるようにしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ひとり一人の身だしなみや入浴後の整容支援を行っています。理容店はの同行や普段利用している化粧水をお使い頂けるように支援しています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や片づけをお手伝いして頂いたり、料理のリクエストを伺いメニューに取り入れたりしています。	食事にはこだわり、独自のメニューで、菜園で獲れる野菜もあり、食材の買い出しからすべてを職員・利用者参加で行っている。利用者は、調理できる方、片づけを出来る方など、その方に合わせて手伝って頂き、食事は、スタッフも一緒に食卓を囲んでいる。利用者の中には、夜の分としてお弁当を持って帰る方もいる。行事食は、季節に応じて、おせち料理、恵方巻き、等々行っている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの良い食事提供を行い、食事形態も個人の状態に合わせて対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けを行い出来るところではご本人に行って頂き必要なところは介助にて行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレのサインを見逃さず、トイレ誘導しトイレにて排泄できるように支援しています。また、排泄パターンを把握しトイレ誘導を行いトイレでの排泄が出来るようはたらきがけをしています。	排尿・排便チェック表による排泄パターンの把握をしてトイレ誘導を行いトイレでの排泄が出来るようはたらきがけをしてる。トイレはまだ自立の方も多くいらっしゃるが、トイレのサインを見逃さず、トイレ誘導する。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や運動を取り入れ便秘にならないように努めています。医師の指示のもとご家族と連携の上、下剤の調節を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の意思を大切にし、決して無理強いせずによりゆっくり入浴できるように支援しています。	入浴については、先ずご本人の体調に注意を払っている。また、入浴したくない人には無理強いをしないようにして、気分が乗らない場合は時間をずらす等、工夫をして支援している。リフトも設置している。入浴回数は、家族や本人の要望に従っている。入浴剤の利用、しょうぶ湯、ゆず湯なども行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活習慣に応じてベッドや布団の対応をしています。日中はソファや畳スペースを利用していつでも休息出来るようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の説明書を確認し、薬の作用などを理解し服薬の支援をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯、庭いじりなど出来る方とは一緒に行い、季節に応じたレクリエーションを行い楽しんで頂けるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩を日課としています。また、花見など出かけて四季の移り変わりを楽しんで頂いたり、普段行かない所にドライブに出掛けたりしています。	天候が良ければ散歩に出かけている。また、月に1回はレクリエーションで遠出（保土ヶ谷公園の桜、三ツ沢公園のアジサイなど）をしている。鴨居に食材の買い物、床屋美容院に行ったり、通院介助もしている。徒歩20分程度の近所に畑を借りていて、利用者と畑へ行くことがある。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布の所持は自由にして頂いています。買い物の際は、ご本人に支払して頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯をお持ちの方は、自由にお使い頂いています。御家族に連絡を希望する場合には、電話が出来るように支援しています。手紙と一緒に出しに行く支援もしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温や音量はこまめに調節し、快適な空間を心掛けています。季節感のある制作をしています。	庭、ベランダがあり、気候の良い日は窓を開けて自然の風に触れられるようにしている。ベランダには季節の花を育て、庭には畑があり世話をする人もいる。リビングのインテリアは季節の飾り（今は紅葉の塗り絵、すすきの生け花）やペーパーで作られた花飾りを飾って季節感と居心地の良さを醸している。今日の日付をサイコロ状の面に記入した置物がCDデッキの上におかれている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思い好きな場所で過ごして頂けるように座席指定はせずに好きな場所や気の合う方と過ごして貰えるよう支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅に居るような状態で過ごして頂けるように寝具を合わせたり、使い慣れた物を持参して頂いたりし安心して過ごせるよう支援しています。	普通の一戸建てを明るく、広くリフォームし、自分の家にいるような空間を作るように工夫している。自宅に居るような状態で過ごして頂けるように寝具をベッドでも畳でも対応できるようにしている。また、いつも自宅で使用している小物をもってきて頂いて、身の回りに置いて頂く等、本人が安心できるよう配慮している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーの作りになっており、玄関・トイレ・浴室は手摺も設置しているため安全に移動できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念：すべての高齢者がいつまでも「自分らしく」居られるために 私たちは高齢者の方々の「心地よい居場所」であり続けます この理念を基にスタッフ同士コミュニケーションをとり、基本方針に沿ったサービスの提供を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入しています。 ・イベントのお誘いをしています。 ・防災訓練へのお誘いをしています。 ・近隣の保育園を訪問し、交流をもっています。 ・ご近所の方を招いて交流会を持っています。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所の方を招いての交流会を実施し、介護等の悩みや不安を話せる場作りをしました。 ・地域の祭りにコーナーを設け、小規模多機能型居宅介護ほかの説明をしました。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1度開催・利用状況やサービスの実践等を報告して意見を頂いている ・私たちが参加できる地域活動の情報を頂いている。 ・地域での問題等を教えて頂き、解決に協力したいと思っている。 		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市小規模多機能事業者連絡会の勉強会に参加し、横浜市の情報等を得ています。 ・地域の包括支援センターには、定期的にお伺いし、困難事例などあれば相談にのっていただけるよう関係づくりをしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関、窓等施錠はせず、スタッフが利用者に付き添い行動を共にすることで、危険を回避している。 ・外に出たい方には、デッキで日向ぼっこや散歩やドライブやかいものにお誘いし、気持ちに添えるように心がけています。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の話をこまめに聞き、介護疲れから虐待につながらないようにサービスの提供を行っています。 ・入浴時など、身体の変化を見逃さないようにしています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加し、知識を得るようにしています。 ・ご近所の方から、相談を受け、成年後見人制度を説明し、包括支援センターの社会福祉士を紹介しました。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、料金表等で解りやすく説明し、見学・体験を勧めています。 ・契約の締結、解約又は改定等の際の説明は、理解していただけるように丁寧に行っています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時や送迎時、連絡帳、お手紙、電話等でのご家族とのコミュニケーションを大切にし、意見や要望を聞き出し、日々のケアに反映させています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月に1度必ずミーティングを行い、今後の方向性の確認をしています。 ・日常的にもスタッフ同士コミュニケーションをとり、働きやすい環境を作っていく努力をしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・開所して6ヶ月を過ぎ、職場環境を見直し、整備をした。環境が変わったため、職員がそれぞれアイデアを出し、利用者との時間を楽しく過ごせるように努力してくれるようになりました。 ・利用者数も定員の半分にも満たず、まだまだ赤字経営ではあるが、時給をほんの少しではあるが、アップしました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・スタッフ個人に合わせた研修を事業所内で行ったり、外部研修への参加を促したり、能力の向上に努めている。 ・法人内のほかの事業所と連携し、研修の場を作っています。 。仕事に必要な資格の取得に援助している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・連絡会や研修など、極力参加し、そこで知り合った同業者と名刺交換し、他者のやり方等いいと思ったことはどんどん取り入れています。 ・開設当初は長くやられている小規模多機能の事業所を見学させてもらい、色々教わりました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・管理者が訪問し、本人が困っていること、不安なこと、要望等をじっくりと聞かせて頂き、それに対してどのようにさせていただくか具体的にお答えしていくようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・管理者が訪問し、本人が困っていること、不安なこと、要望等をじっくりと聞かせて頂き、それに対してどのようにさせていただくか具体的にお答えしていくようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・サービス開始と同時に、必要とされているサービスは何か、常に考えながらサービスを行うよう努めています。 ・必要に応じて他のサービスの検討をします。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・スタッフの子供の面倒を見ていただいたり、調理や裁縫等、利用者ご本人が出来ることをお願いしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・当施設での様子などお伝えし、家での様子を伺い、一緒に本人のために良い介護ができるよう支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・地域の方との付き合いがある方は、お通夜お葬式等、優先して出かけていただきました。 ・近隣に知っている方がいない方、忘れてしまった方の場合も訪問や送迎で伺った時一緒に挨拶するなど支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事時、スタッフも共にテーブルにつき会話をすることで利用者同士の会話が生まれます。 ・グループレクリエーションを行い、お互いに関われるよう努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご夫婦で利用していた方で、ご主人だけ利用が終了したが、訪問したときなど、今までと同じように関わっています。 ・その他の方たちとは特に支援していません。 		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に関わる中で、会話や表情をよく観察し、どんな思いを抱かれているか汲み取る努力をしています。 ・困難な場合は、ご家族の方と相談しながら、不穏状態にならないよう関わるようにしています。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族から伺い、アセスメントを作成し、日々の関わりの様子は記録ノートに書き綴っています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間のコミュニケーションで情報を得たり、日々の観察の中で把握するよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・日常関わる中で知りえる情報を蜜に交換することで、現状に即したサービスを提供しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の様子は、個別に細かく記録し、スタッフ全員が共有できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人、ご家族とのコミュニケーションを大切にし、その時々要望に応えられるよう努めています。 ・通院介助、通院の送迎、配食、時間外の送迎など行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・広範囲の利用者を受け入れたため、一人ひとりの地域資源を把握できていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご本人・ご家族の希望により、通院の支援を行っています。糖尿病の方の栄養相談も一緒に受けてきました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・利用者の小さな変化も見逃さず、看護職に伝えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・まだ、入院された利用者はいらっしゃいませんが、医療機関との関係づくりは大切と考えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・まだ、その段階の利用者はいらっしゃいませんが、ご家族とは、様ようなことを話し合う場を設けて行きたいと思っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・心肺蘇生法の訓練を定期的に行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署の協力のもと、夜間を想定した災害時の避難訓練を定期的に行っています。 ・今後、地域の方々にも参加して頂けるようお誘いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・日常的に接する際、尊敬の意を持ち、一人ひとりに合った言葉遣いや言葉選びに細心の注意を払っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・必要に応じ、個別対応を行っています。 ・意思表示のできる方ばかりではないので、行動や表情から汲み取るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご本人の気分が乗らない時は、レクリエーション等無理強いをせず、ご本人のペースで過ごせるよう配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・男性は髭剃りをしたり、女性にはお化粧品やマニキュアなど楽しんでもらっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理できる方、片づけを出来る方など、その方に合わせてお手伝いをいただき、スタッフも一緒に食卓を囲んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養バランスを考えた食事の提供や子真似に水分補給できるよう声かけや介助を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、一人ひとり口腔ケアを行っている。義歯の方は、義歯をはずして頂き、洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・行動パターン等でトイレ誘導を試み、トイレで排泄できるよう援助しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分量の確保や食事内容等で便秘にならないよう努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	・入浴されたくない場合は無理強いはしなようにしています。 ・気分が乗らない場合は時間をずらす等工夫をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日中横になられたり、ご本人の要望に応じています。 ・ベッドがダメな方は床に布団を敷き、泊まっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬管理表の作成や利用者一人ひとりの内服薬が書かれている説明書をスタッフが確認できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・食事の準備や片付け、洗濯物や裁縫など出来ることをお願いしています。子供とのふれあいも日常的に行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	・散歩に出かけています。 レクリエーションで動物園や卸市場など外出しています。 ・床屋美容院に行ったり、通院介助もしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お財布は自由に所持して頂いている。一緒に買い物へ行く際は、ご自身で支払いをいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身の携帯電話をお持ちになり、お供達に掛ける方がいます。 ・家にかけてと言われる方がいますので、家族が心配しない程度にかけています。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・機構の良い日は窓を開けて自然の風に触れられるようにしています。 ・季節の花を植えたり、飾ったりしています。 		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> リビングと離れて畳の部屋があり、ドアで仕切れるようになっていきます。 ・ベンチがある広いデッキがあり、外に出たくなった方がよく日向ぼっこしています。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の一戸建てを明るく、広くリフォームしましたので、自分の家にいるような空間を作るようにしています。 ・いつも自宅で使用しているものをもってきていただいて、身の回りに置いています。 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・階段には両側に手すりをつけ、自力で登って頂いたり、2人介助で歩行していただいたり自分で歩くお手伝いをしています。 ・様々な作業に関わって頂き、「出来る事」「わかること」は継続していただいています。 		

目 標 達 成 計 画

事業所

小規模多機能ホームつばさ

作成日

平成25年11月11日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員のレベルアップ	ひとりの職員が複数の利用者を相手に楽しく過ごせる術を身につける	利用者ごとのケア方法を把握する 複数の利用者の行動を見守ることができるようになる レクリエーションを工夫する	半年
2	12	職員の処遇アップ	職員の定着や優秀な人材の獲得の為処遇を見直す	利用者の増加 経費削減	1年間
3	29	地域資源の活用 地域活動に参加	地域の一員となる	地域資源を調べる 地域活動に参加	1年
4	64	なじみの方、地域の方との交流	いろんな方が訪ねてくるような関係づくり	訪ねてきてくれるようなイベントの開催	半年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。